

2008年4月23日

# 投資脳のつくり方

～印インフォシス、IT業界の成長続く～

経済アナリスト 木下晃伸（きのした・てるのぶ）

■当資料は、経済アナリストの木下晃伸が、投資環境についての情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■当資料に基づいてとられた投資行動の結果については、株式会社きのしたてるのぶ事務所（以下当社）ならびに木下晃伸は一切責任を負いません。■当資料の内容は当資料作成時のものであり、将来予告なく変更される事があります。■当資料は、当社が信頼性の高いと判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。

# 本日お話をさせていただくこと（目次）

## ● 「投資脳のつくり方」

- 印インフォシス、IT業界の成長続く
- 司令塔解体、惑うサムスン
- ドアラ「ドアラのひみつ」

## ● 「個別銘柄情報はこちらから」

「なぜ、この会社の株を買いたいのか？」（プレミアムメールマガジン）ご紹介

●お申し込みはこちらから（1ヶ月間は無料視聴、いつでも停止できます）

（まぐまぐ）<http://premium.mag2.com/mmf/P0/00/50/P0005007.html>

（フィスコ）<http://fisco.jp/report/mail/terunobu-kinoshita.html>

# 印インフォシス、IT業界の成長続く

(出所) 2008年4月23日付日本経済新聞朝刊9面

- 印インフォシス、S・ゴパラクリシュナンCEOに聞く
- 「我々の成長物語は続く」
- 09年3月期は前期並みの2割増収を予想

米景気減速や通貨ルピー一高に直面するインドのIT業界。だが、印インフォシス・テクノロジーズのS・ゴパラクリシュナン最高経営責任者は「我々の成長物語は続く」と日本経済新聞社の取材に対し言い切っているようだ。

同社業績はと言えば、2009年3月期は前期並みの2割増収を予想している。

しかし、株価はどうか。1年間の株価推移を見ると同社業績は堅調な中、株価は下落している。「株価は正義」と考えると、同社業績見通しにやや甘さが残ると見るべきなのか。

インフォシス・テクノロジーズの株価

<http://finance.yahoo.com/q/bc?s=INFY&t=1y&l=on&z=m&q=l&c=>

ソフトウェア会社は、2002年から03年にかけて国内上場企業への投資で苦い経験がある。具体的には、受注の失注と赤字受注の拡大により、業績が当初見通しに比べ劇的に悪化してしまった事例だ。一般的にインドのIT業界は米国向け売上が6割程度占める。経営者の見通しが外れることもある。一方で、株価が間違っていることもある。私は現時点では、インドIT業界に対しては、やや懐疑的な見方をしている。

# 司令塔解体、惑うサムスン

(出所) 2008年4月23日付日経産業新聞34面

- 韓国最大財閥サムスンのイ・ゴンヒ会長が22日、辞任
- 背任や脱税などの罪で在宅起訴された責任をとる
- 韓国への投資はどうか？

韓国最大財閥サムスンのイ・ゴンヒ会長が22日、辞任した。長男への経営権継承に絡み、背任や脱税などの罪で在宅起訴された責任を取る。

イ・ゴンヒ氏が創業者のイ・ビョン Chol 氏前会長の死去を受け会長に就任したのが1987年12月。06年のグループ売上高は151兆7,661億ウォン(約15兆5,500億円)と就任時の10倍に増やし、韓国の国内総生産(GDP)の2割近くを占める巨大グループに成長させた。

イ・ゴンヒ氏は、安かろう悪かろうというイメージが強かったサムスンブランドを一新、世界企業に躍進させた。一方で、中核のサムスン電子を筆頭にトップ業界となった分野ではキャッチアップから新しい道筋を自分で見つけなければならない厳しい戦いを強いられていた。イ会長は、「この先20年がもっと心配だ」と語っていたように、危機感を最も強く持っていたのがイ会長だった。サムスンは一体どうなるのだろうか。

韓国経済全体に影響を及ぼすサムスンの動向は、韓国への投資に大きな影響を与えるだろう。一方で、サムスンが自滅することで、他財閥が躍進することも考えられる。答えは実地の取材しかないだろう。5月末に韓国への現地視察と上場企業取材を現在検討している。投資魅力が高いか、それとも魅力が低く投資対象として見送るか。訪問後報告したいと考えている。

# ドアラ「ドアラのひみつ」

(出所) 2008年4月23日付日本経済新聞夕刊7面

- 中日ドラゴンズのマスコットキャラクター「ドアラ」が書いた「ひみつ」
- 売れに売れ発売2ヶ月で二刷12万部
- 脱力感が共感呼ぶ

プロ野球、中日ドラゴンズのマスコットキャラクター、ドアラが“書いた”「ドアラのひみつ」が発売二ヶ月で二刷12万部と快走している。かつてはドラキチとしてナゴヤ球場に足しげく通った。94年10月8日の読売ジャイアンツとの同率首位争いの日には声をからして応援した。

そんな私が、「ドアラのひみつ」という本が出ていることすら知らなかった。情けない。それはそれとして売れている商品にはなんらかのビジネスのヒントが隠されている。特に同書を出版したPHP出版の編集者太田智一氏のコメントは気づきがある。

●プロ野球ファンの太田氏は、2006年3月に始まったドラゴンズ広報担当者のブログを愛読していた。ドアラに注目したのは同年7月。ドアラを「極悪」と表現した夕刊紙の記事に対し、広報担当者が怒りの一文を書き記した。すると、ドアラ擁護を中心に300ほどのコメントが殺到した。「人気を確信した」(太田氏)という。

●役に立つ本ではない。だが、近年ベストセラー上位を占める「マニュアル的な本に読者は疲れ始めているのでは」と太田氏はみる。

時代は移り変わる。そして、世相はビジネスに影響し、株価にも影響する。売れ筋の商品から何らかのヒントを探すことは重要だと思う。

# 個別銘柄情報はこちらから

「なぜ、この会社の株を買いたいのか？」（プレミアムメールマガジン）

- ファンドマネジャー、アナリストの**実際の議論現場**を克明にお伝えします
- 1,000社以上の取材に裏打ちされた、**理論的な株式投資ノウハウ**を全開示
- **ネットセミナー**ならではの臨場感をお楽しみください

個別銘柄投資を通じ、**年率20%以上のリターンを確実に求めていくためには、理論に裏打ちされた確かな投資ノウハウを知っておく必要があります。**

実務経験があるからこそ気づいた投資ノウハウ、また、個別銘柄を徹底的に分析する際に、何を見て、何に気づけばいいのか、ネットセミナーを通じて克明にお伝えしていきます。

●お申し込みはこちらから（1ヶ月間は無料視聴、いつでも停止できます）

（まぐまぐ）<http://premium.mag2.com/mmf/P0/00/50/P0005007.html>

（フィスコ）<http://fisco.jp/report/mail/terunobu-kinoshita.html>

# 重要事項（ディスクレーム）

- 掲載される情報は株式会社きのしたてるのぶ事務所（以下当社）ならびに経済アナリスト木下晃伸が信頼できると判断した情報源をもとに作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、当社ならびに木下晃伸は保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。
- 本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。
- 本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権は当社ならびに木下晃伸に帰属し、事前に書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。
- 本資料により提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。
- 本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。
- 本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大することを保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、当社ならびに木下晃伸は、理由のいかんを問わず、責任を負いません。
- 当社とその取締役、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。
- 投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。